

目次

序	栗林忠男	v
株主総会における特別決議の定足数	加藤修	一
企業再編法制における債権者保護の法理	宮島司	一三
不正な証券取引の禁止	並木和夫	三
―証券取引法一五七条一号(旧五八条一号)の意義と展開―		
商号をめぐる排他性と現行法規整の問題点	山本爲三郎	五
フランス簡易株式制会社の一九九九年改正について	鈴木千佳子	八
インターネットの普及と著作権法	小宮山宏之	一〇三
代表取締役制度の半世紀	倉沢康一郎	一三七
投資法人の統治機構	竹中正明	一三七
―株式会社との対比において―		
権利外観理論の現代的意義	大賀祥充	一三
自己宛小切手の喪失と事故届	近藤龍司	一七

一人会社の設立	安井威興	三〇九
手形の署名制度とその諸問題	黄清溪	三九
商事売買における買主の瑕疵通知義務が成立するための要件と問題点	久留島隆	二六七
商法における時価会計の意義	島原宏明	三三
高島正夫先生略歴・主要著作目録		三四